



様式第8号 (第6条関係)


| | | | | | |
|--------|----|---|---|----|----|
| 決 裁 | 議長 | 局長 | 次長 | 係長 | 係員 |
| | |  |  | | |

派遣承認要求書

令和5年10月16日

栗原市議会議長 殿

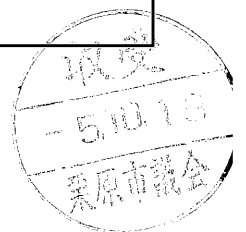
会派名 創成会

代表者 五十嵐 勇 






下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

| | |
|----------|---|
| 日 時 | 令和5年11月20日(月)05時45分から 令和5年11月22日(木)20時30分まで |
| 派遣先 | ① 道の駅たけはらと歴史的町並みの現地視察『広島県竹原市本町1丁目1-1』 ② 竹原市議会『広島県竹原市中央五丁目1番35号』 ③ mine 秋吉台ジオパーク『山口県美祢市秋芳町秋吉11237-862』 ④ タカミヤ環境ミュージアム『福岡県北九州市八幡東区東田2-2-6』 |
| 派遣目的 | ①・②現存する歴史的な町並みの魅力をどのように守り、磨き、活かし、継承し、交流の場とし発信しているか、観光と結び付けて生かしているか、道の駅を中心とした歴史的な街並みや街づくりと観光との融合を現地視察と机上調査。 ③山口県内で初めて日本ジオパークに認定された場所。美祢市での地域の自然や歴史、文化の成り立ちを学ぶ場所として、秋芳洞をどのように観光に結び付けているのか。我が市の栗駒山麓ジオパークとの違いや共通点、ジオパークの運営方法などを学び、ユネスコ世界ジオパークの認定に向けた活動の取り組みを視察。 ④北九州市博覧祭のパビリオンとして誕生した環境学習の場。環境活動の拠点としての「環境ミュージアム」。公害克服や、世界の環境問題、身の回りのエコ活動や市民・企業の環境への取り組みなど、“SDGs 未来都市”である北九州市の取り組み方を視察。 |
| 経 費 | 旅費 254,980 円 (1人当たり 127,490 円) 現地支払いバス・地下鉄代金 その他経費：視察先へのお土産代 2,640 円：ガイド、入洞料 5,000 円 |
| 派遣議員氏名 | 五十嵐 勇・濁沼 一孝 |
| 議長依頼文の要否 | <input checked="" type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 否 |
| 備考 | その他参加者 市民くりはら2名、尾形勝通 |




式第9号（第6条関係）

| | | | | | |
|--------|---|---|---|---|---|
| 決 裁 | 議 長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 員 |
| |  |  |  |  |  |

自家用車による出張計画表

令和5年10月16日

栗原市議会議長 殿

会派 創成会
代表者 五十嵐 勇 

下記のとおり自家用車による出張をしたいので、承認されるよう要求します。

記

| | |
|---------|------------------------|
| 日 時 | 令和5年11月20日～令和5年11月22日 |
| 出 張 先 | 広島県竹原市・山口県美祢市・福岡県北九州市 |
| 目 的 | 行政視察（栗原市役所から仙台空港までの往復） |
| 出 張 議 員 | 五十嵐 勇・濁沼 一孝 |
| 自家用車所有者 | 佐藤 千昭（市民くりはら） |

行程明細

| 出発地～行先 | 利用道路 | 距離(km) | 車 賃 | 有料道路代 | 駐車場代 |
|------------|------|--------|---------|---------|---------|
| 栗原市役所～仙台空港 | 東北道他 | 85 | 1,360 | 1,024 | |
| 仙台空港～栗原市役所 | 東北道他 | 85 | 1,360 | 1,024 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | 小 計 | 170 | 2,720 円 | 2,048 円 | 1,200 円 |
| | | | 出張雑費 | | |
| | | | 総 計 | 5,968 円 | |

経費：参加人数5で案分し、会派参加者2



栗原市議会会派視察行程表

日程：令和5年11月20日(月)～11月22日(水)

| 月日 | 行 程 | 発 | 着 | 摘 要 |
|--------------|-----------------------|-------|-------|-----------------------------|
| 11/20 (月) | 市役所 ～ 仙台空港 | 6:00 | 7:20 | 自家用車乗り合わせ |
| | 仙台空港 ～ 広島空港 | 8:05 | 9:40 | IBX39 |
| | 広島空港 ～ 道の駅たけはら | 10:00 | 10:30 | 連絡バスタクシー |
| | 市内街並み現地視察 | 10:30 | 12:00 | 行政視察 |
| | 竹原市役所視察 | 13:00 | 14:00 | 行政視察 |
| | 竹原駅 ～ 広島駅南口 | 14:14 | 15:21 | かぐや姫号[芸陽バス] |
| | ホテル（広島市内泊） | | | 広島ワシントンホテル 082-553-2200 |
| 11/21 (火) | 広島駅 ～ 新山口 | 9:08 | 9:57 | J R 山陽新幹線 |
| | 新山口 ～ 秋芳洞 | 10:20 | 10:57 | 防長バス |
| | 秋芳洞 ～ Mine秋吉台ジオパーク | 11:10 | 11:35 | タクシーにて移動 |
| | Mine秋吉台ジオパーク視察 | 13:00 | 15:00 | 行政視察 |
| | Mine秋吉台ジオパーク ～ 秋芳洞 | 15:15 | 15:30 | タクシーにて移動 |
| | 秋芳洞 ～ 新山口 | 15:40 | 16:19 | 防長バス |
| | 新山口 ～ 下関駅 | 16:45 | 18:02 | J R 山陽新幹線 |
| | ホテル（下関市内泊） | | | ドリーミンPREMIUM下関 083-223-5489 |
| 11/22 (水) | 下関駅 ～ スペースワールド駅 | 9:06 | 9:43 | J R 山陽本線・徒歩 |
| | タカミヤ環境ミュージアム視察 | 10:30 | 12:00 | 現地視察 |
| | スペースワールド駅 ～ 博多駅 | 13:58 | 14:47 | J R 鹿児島本線 |
| | 福岡空港 ～ 仙台空港 | 16:50 | 18:30 | IBX17 |
| | 仙台空港 ～ 栗原市役所 | 18:40 | 20:00 | 自家用車乗り合わせ |
| | 解散 | 20:00 | | |

様式第10号（第7条関係）

視察研修結果報告書

令和5年12月12日

栗原市議会議長 高橋 渉 殿

会派 創成会

氏名 五十嵐 勇



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和5年11月20日～22日
- 2 視察研修先
 - ① 広島県竹原市「道の駅たけはら・歴史的町並み」(観光まちづくり担当部)
 - ② 広島県竹原市 竹原市役所 (総務企画部産業振興課 商工観光振興係)
 - ③ 山口県美祢市 Mine美祢秋吉台ジオパーク (教育委員会世界ジオパーク推進課)
 - ④ 福岡県北九州市 タカミヤ環境ミュージアム (里山を考える会)
- 3 目 的
 - ① ② 現存する歴史的な町並みの魅力をどのように守り、磨き、活かし、継承し、交流の場とし発信しているか、観光と結び付けて生かしているか、道の駅を中心とした、歴史的な街並みや街づくりと観光との融合を現地視察。竹原市議会では竹原市の観光施策についての机上調査。



③ 山口県内で初めて日本ジオパークに認定された場所。美祢市での地域の自然や歴史、文化の成り立ちを学ぶ場所として、秋芳洞をどのように観光に結び付けているのか。我が市の栗駒山麓ジオパークとの違いや共通点、ジオパークの運営方法などを学び、ユネスコ世界ジオパークの認定に向けた活動の取り組みを視察。

④ 北九州市博覧祭のパビリオンとして誕生した環境学習の場。環境活動の拠点としての「環境ミュージアム」。公害の克服や、世界の環境問題、身の回りのエコ活動や市民・企業の環境への取り組みなど、“SDGs 未来都市”である北九州市の取り組み方を視察。

4 調査研究内容

別紙の通り

5 参加議員

五十嵐 勇 ・ 濁沼 一孝

調査研究内容

- ① 広島県竹原市 「道の駅たけはら・歴史的町並み」(観光まちづくり担当部)
- ② 広島県竹原市 竹原市役所 (総務企画部産業振興課 商工観光振興係)
(11月20日)

今回視察に訪れた広島県竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれた「竹の町」である。「安芸(=広島県西部)の小京都」とも呼ばれる「町並み保存地区」を有している。石畳の続く本通りから細い路地を抜けると、様々に情緒あふれる町並みを観る事が出来る。専門の町並観光ガイドさん(有料)が居り2時間ほどかけて美しい町並みを案内して頂いた。

この歴史的町並みを保存継承していくにはかなりの費用もかかるとの事で、竹原市の歴史的町並を保存していく上での苦労話も聞く事が出来た。重要伝統的建造物群に選定された「町並み保存地区」は2000年に「都市景観100選」にも選出されたとの事だ。酒造業で栄えた江戸時代の面影をそのまま残し、往時を偲ばせる石畳や漆喰、「竹原格子」と呼ばれる塗り籠め格子を用いた町屋が特徴だ。

栗原市には現存する歴史的町並みといえば、金成の旧有壁宿本陣や仙台藩花山村寒湯番所跡位なもので竹原市のような観光の街づくりには適さないと考えた。そして、江戸時代の塩つくりや北前船の寄港地でもあり、また都市景観100選にも選ばれた街である。本市が観光を進めるとすれば、栗駒岩ヶ崎六日町と栗駒山の駅を中心に進めるべきと思った。

③ 山口県美祢市 Mine 秋吉台ジオパーク (美祢市教育委員会世界ジオパーク推進課) (11月21日)

山口県のほぼ中央に位置する美祢市は、Mine 秋吉台ジオパークとして日本ジオパークに認定されている。最初にお邪魔した Mine 秋吉台ジオパークセンター「Karstar (カルスター)」は、ジオパークの情報発信を行う観光案内所で、コーヒースタンドを併設する無料休憩所があり、大きな窓からは秋吉台の大自然を一望する事ができた。愛称である Karstar (カルスター) は、Karst(カルスト) +Star(星)の造語で、秋吉台の輝く一番星のように、この地のランドマークとして多くの方々にここを目指して来ていただけるようお願いをこめて名付けたとの事だ。美祢市教育委員会事務局、世界ジオパーク推進課、ジオパーク推進班の谷直子班長にお出迎えを頂き、色々とお話も伺った。

Mine 秋吉台地域の中央部には、日本最大級のカルスト台地「秋吉台」が広がっている。秋吉台は、昔のサンゴ礁が積み重なった石灰岩でできているとの事。石灰岩は、秋芳洞をはじめとする鍾乳洞の観光利用や鉱物資源としての採石など、地域内外の人々の生活と密接に関わっているとの事だった。

栗原市は栗駒山麓ジオパークが認定されて、2期目8年が終了し、3期目に登録されている。栗駒山、伊豆沼、荒砥沢崩落地、ビジターセンターを核として訪れる観光客が増加するように、栗原市行政改革大綱にある戦略的な行政運営に務めてほしいと思った。

④福岡県北九州市 タカミヤ環境ミュージアム（里山を考える会） （11月22日）

最終日、福岡空港に向かう途中、JR鹿児島本線「スペースワールド駅」を降りると、今は閉園した「スペースワールド」と言う遊園地跡の再開発地に出る。そこをミュージアムに向かう道沿いには「東田第一高炉史跡広場」があり、大きな煙突のオブジェを観る事が出来る。北九州が繁栄を極めていた頃の象徴とも呼べる煙突だが、公害問題を引き起こした煙突でもあり、複雑な思いで見えてきた。

かつては「七色の煙」が空を覆い、洞海湾は魚が住めないほど汚染され「死の海」と呼ばれていた北九州市。現在のような青い空と青い海を取り戻すまでの歴史を学ぶ為に今回訪問したのが「北九州市環境ミュージアム」だ。

北九州市からの指定管理を受けている「里山を考える会」山下説明員に出迎えて頂き、ミュージアム館内の案内と環境ミュージアムの目的や管理方法を説明頂いた。私達が訪れた当日も大型バスで修学旅行生や、県内外から学校の研修授業としてミュージアムを訪れており、北九州の発展の歴史を学ぶ上では欠かせない施設になっているとも感じた。当時は「七色の煙」つまり煤煙を見上げて、その汚さが汚い程に喜んでたと説明を受けた時は、当時の繁栄優先の気持ちが人々の感覚を麻痺させていたのだろうとも思った。

栗原市だけではなく、県内でも風力発電、太陽光発電等で環境問題が論議されている。北九州市は企業による公害問題であるが、クリーンエネルギーも公害問題になりうる。自然環境に配慮した政策が必要と感じた。